



引退セレモニーに駆け付けた親友、サッカーJ1磐田の中山選手から花束を受け取り感極まった表情を見せる村田選手＝ヤマハスタジアム

ヤマハ発・村田選手「ノーサイド」

「ラグビーに恩返し」 第二の人生も全力

ラグビートップリーグ
・ヤマハ発動機の村田互
選手が二日、磐田市

のヤマハスタジアムで行った今シーズン最終戦終了後、現役を引退した。ノーサイドの笛が鳴ると、あふれる涙をぬぐいながら「ファンの後押しと家族の支えでここまでこれた。ありがとう」とグラウンドを一周した。

―関連記事11面へ

ラストゲームの出番は十数分だった。ピッチに入ると攻撃の起点となり、鋭いパスを次々と配球した。「全盛期より体

力は落ちたが、今も平均くらいで問題ない。精神力も強くなっている。ほかのチームならできる自信はある」。ただ、鉄人も昨シーズンごろから脳震とうを起すことが増えた。「正直怖くなった。医者からも『そろそろ休め』と言われた」。引退を決意したのは今季初め。妻の理奈さん(33)には打ち明けていた。

引退セレモニーではサッカーJ1磐田の中山雅夫選手(40)と9番のユニホームを交換し、がっちりと抱き合った。「昨日激励のメールをもらった。グラウンドは違えど、互いに切磋琢磨(せつさつたくま)してやってきた」と友情に感謝した。将来はラグビーの指導